

大豆のアブラバチによるマミー			
6月	7月	8月	9月
		観察適期	



観察適期の大豆(30株全葉を調査)



葉をめくって葉裏を観察



1~2ミリ

マミー

抜け殻



ギフアブラバチの成虫

・「マミー」は、寄生されて硬化したアブラムシの身体

大豆では、ジャガイモヒゲナガアブラムシにギフアブラバチが寄生することが多い。マミーの中で発育を完了したハチが羽化する時に、表面に円形の穴が開く。マミーの大きさは約1~2mmで、色は淡褐色から褐色。

・観察適期は7月下旬~8月上旬

大豆上のマミー個体数が増加する7月下旬から8月上旬が観察適期。8月中旬以降、新たなマミーは増えないが、アブラバチ成虫が脱出した「抜け殻」は8月下旬まで残る。

・30株程度を対象に、全葉の葉裏を調査する。

マミーは、そのほとんどが葉裏にある。また、上位~下位葉に同程度見られる。30株程度を対象に、全葉の葉裏を観察する。